

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(事業 委託 補助用)

I 基本事項

整理番号 319

事業名	沼島デイサービス事業委託		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	健康福祉部	長寿福祉課		款	民生費・3款
	0799 - 44 - 3005			項	社会福祉費・1項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)		目	老人福祉費・3目
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務				
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	安らぎづくり_元気あふれ_住んで快適なまちづくり_			
	まちづくりの目標	子どもを産みたい_育てたいまち(子育て)			
	施策目標	すべての人が安心してまちに出て、日常生活や地域での交流が行える環境をつくる			
該当する事業について「 」を選択		施策的事業		業務委託	負担金補助

II Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人に)	
		沼島地区在住の高齢者	対象人数(人) 15
		意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入)	
		沼島在住の高齢者の健康的な生活の保持、心身機能の維持向上による要介護状態の予防などを図る。	
	実施内容	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか)	
	週1回水曜のみ、サービス職員・栄養士・看護師・調理師において、生活指導、日常動作訓練、レクリエーション、健康チェック、食事、入浴などの提供を行う。		
背景、委託根拠	(どのような現状・課題・要望があったか、また委託に至った根拠、他の自治体の動向)		
	社会福祉法人淡路島福祉会へ委託。		
	事業実施主体	<input type="checkbox"/> 市直営 <input checked="" type="checkbox"/> 民間・その他 (社会福祉法人淡路島福祉会)	
	事業期間	<input type="checkbox"/> 平成 年度 ~ 平成 年度 <input type="checkbox"/> 設定なし	
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)		
	<input type="checkbox"/> 旧緑町 <input type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 旧町からの継続で実施。		

Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

「実施内容」により得られる活動結果指標 (アウトプット)	指標名	年間延利用者数			指標単位 人
	指標説明 (指標算出方法等)	沼島地区65歳以上高齢者			
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	目標値	500	521	500	500
	実績値	500	521	500	
	達成度 (%)	100.0	100.0	100.0	-
目標値設定の考え方	年間利用予定者数				
アウトプットにより達成される「目的」に対する事業の成果指標 (アウトカム)	指標名	実施回数			指標単位 件
	指標説明 (指標算出方法等)	毎週水曜開所を基本			
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	目標値	54	48	48	48
	実績値	50	57	48	
	達成度 (%)	92.6	118.8	100.0	-
目標値設定の考え方	毎週水曜開所予定回数				
資源配分 (インプット)		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	直接事業費 (千円)	2,400	2,400	2,400	0
	委託料	2,400	2,400	2,400	0
	財源 (千円)				
	国				
	県				
	起債				
	その他				
	一般財源[A]	2,400	2,400	2,400	0
	人件費(正規職員)[B] (千円)	92	90	90	0
	平均人件費(1日当り)	30.7	29.9	30.1	30.1
	事業量1(事業に要した日数)	3	3	3	0
	事業量2(事業に要した人数)	1	1	1	0
年間経費([A]+[B])	2,492	2,490	2,490	0	
「目的」対象人数1人当り経費 (千円)	166.1	166.0	166.0	0.0	
受益者人数(15)1人当り経費(千円)	166.1	166.0	166.0	0.0	
経費に関する補足説明	平成20年度から、事業を介護保険の地域支援事業として実施する。				

IV Check (事業の自己評価・一次評価)

達成度	活動結果指標目標達成度	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
		%	100.0	100.0	100.0	-	
(アウトプットの達成度分析、問題点・課題などを記入。) 沼島地区高齢者の介護予防対策として目標を達成できている。							自己評価 (5点評価)
							3
有効性	成果指標目標達成度	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
		%	92.6	118.8	100.0	-	
	成果向上率	%	-	14.0	15.8	-	
(事業実施による目的に対する有効性分析、問題点・課題などを記入。) 離島における福祉サービスの充実を図ることができている。							自己評価 (5点評価)
							3
効率性	活動実績1単位当り経費	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
		千円	5.0	4.8	5.0	-	
	効率性増減率	%	-	4.1	4.2	-	
(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) 離島であるという地理的条件のため、人件費等を含み全て淡路島から沼島への持ち込みで対応せざるをえないことからコストが高くなっている。利用者数の伸びも悪いようである。							自己評価 (5点評価)
							3
必要性	公共性の高低	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低					
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 離島対策であり、必要不可欠な事業である。						自己評価 (5点評価)
						3	
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 離島である沼島地区の高齢者にとって、気軽に各種サービスを受けるのは困難である。高齢化率も高くなっている中、介護予防対策等のためには必要な事業であり、さらなる充実を図り、健康でいきいきと生活できるよう支援が必要である。						<p>評価グラフ</p>

V Action&Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し
	<p>介護予防対策等のためには必要な事業であり、地域支援事業(特別会計)へ移行し、継続で実施していく。</p>	同左
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
	コスト面	コスト面
(現状維持の場合も記入)	仮に 事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 離島で高齢者率も高い地域において、本サービスがなくなれば遠く離れたサービス提供施設まで通所しなければならないことは、高齢者やその家族にとって負担増となる。その上、身近で介護予防への指導がなくなることで住民自身の知識や意欲も薄れる可能性が高い。	